



# ふれあいの橋の会

## REPORT なんぶ

と き 2025年11月27日(木) 14:00~15:40  
見学先 デイハウスごせんごく・ピスターレごせんごく 米子市福市 1726-1  
出席者 【委員】 鶴亀 寿子、岸本 保子  
【なんぶ 幸朋苑】 徳岡 久美子 (なんぶエリア 在宅課長)  
佐藤 裕輔 (デイハウスごせんごく管理者・係長)  
【法人本部】 荒井 祐二 (監事)



NANBU



## ■ 施設の現況・特色

**荒井監事**：山茶花が咲き始め、年の瀬を感じる季節になりました。 本日は、「デイハウスごせんごく」と「ビスターレごせんごく」を見学していただきます。中村総合施設長は、特養の優先入居判定会に出席のため、徳岡在宅課長から**なんぶエリアの近況**を報告していただきます。



**徳岡課長**：なんぶエリアでは、10月にグローバル人材の活用としてフィリピンの特定技能実習生5名が特養、老健、グループホームの施設系事業所に配属されました。2024年10月に開設しました「みんなの居場所あいRIN」は1周年を迎え、150人を超える皆さんが集いました。デイサービスいしいは、10月に開設10周年のお祝いをしました。**なんぶ幸朋苑は、来年30周年**を迎えますので、祝賀行事の準備を始めています。本日見学していただく「ごせんごく」は、来年**15周年**になります。エリア全体の運営状態は、順調に推移していると考えていますが、人件費や物価高騰の影響がありますので、**極力無駄をなくし、安定した経営でサービス内容の充実に努めたい**と考えています。

**佐藤管理者**：「デイハウスごせんごく」は、小規模多機能型居宅介護事業所で、デイサービス、ショートスティ、訪問のサービスを受けることができます。現在の登録者は23名（男性7名、女性16名）、泊りは7名まで利用でき、平均介護度2.8です。コロナ禍で**地域交流が希薄**になっていましたが、近隣の東みずほ幼稚園との交流も始まりました。**秋祭りには約100名の地域の皆さん**が集まり、賑やかに開催できました。「ビスターレごせんごく」は、住宅型有料老人ホームで現在10室が満床利用です。身の回りのことは自分でできるのが原則ですが、支援が必要な人が多く、食事の声掛け、買い物支援などを実施しています。食事は、専門の調理員が交代制で、朝・昼・夕食を提供しています。



**鶴亀委員**：歳を取ると年々身体的には衰えていくと思いますが、介護施設を利用している人の傾向はどうでしょうか。

**佐藤管理者**：個人差があると思います。デイハウスでは、100歳を超えた人も利用されていますが、トイレも食事も自分でできる人もいらっしゃいます。体操やレクリエーションで、身体を動かされていますので、効果が出ていると思います。

**岸本委員**：私も自分で身の回りのことができることを目標に、日々生活しています。

**徳岡課長**：身体的な機能の維持には食事も大事です。食欲のある人は、元気です。

**鶴亀委員**：自宅にいと会話もなく、何時間もテレビを見てしまいましたが、介護施設では、利用者同士で会話ができます。コミュニケーションを深めることは大切ですね。



## ■ 施設内外の点検・提言

荒井監事：居室やリビング、庭の状況などを見ていただきました。配布しました評価表（①建物、施設内、周辺 ②職員の態度、接遇 ③ご利用者へのサービス ④その他）のチェック項目を照合し、気づいた点を指摘してください。

鶴亀委員：専門の調理員が食事を作っているという説明でした。何食分を作られていますか。

佐藤管理者：デイハウスとビスターレのご利用者、職員の食事を作っていますので、最大で40食分になるかと思います。朝、昼、夕食の数は、異なります。

岸本委員：ここは周辺に大型スーパーマーケットもあり、食材を購入するには便利ですね。

徳岡課長：国道181号が近く、歯科・外科・眼科医院、保育園、幼稚園、小学校、公民館、スーパーマーケット、銀行などが建ち並んでいますので、暮らしやすい地域だと思っています。2階からは、大山を一望できますので、自然環境も申し分ないと感じています。

鶴亀委員：施設内の廊下、階段、リビング、居室などを点検しましたが、掃除が行き届いていました。エアコンの掃除は大変ですね。フィルターの掃除で、エアコンの効きが良くなるようです。

佐藤管理者：風通しがよい環境にありますので、フィルター掃除は欠かせません。開設後14年が経過していますので、老朽箇所も見られますので、今後修繕箇所が出てくるものと予測しています。

鶴亀委員：デイハウスでは、職員が上手にリードされ、体操や文字合わせのゲームをされており、感心しました。ご利用者も笑顔が溢れ、楽しい雰囲気でも良かったと思います。

荒井監事：では、今後の抱負を聞かせてください。

佐藤管理者：この施設が「地域の縁側」のような役割を持てたらと思っています。地域の皆さんが気軽に立ち寄り、交流ができる場所となるよう取り組みを進めてまいります。笑顔できちんと接遇ができる職員が揃っていますので、実現すると思います。

徳岡課長：特養や老健など施設系事業所への入居希望は多くありますが、デイハウスを知らない人も多いです。多機能のサービスが受けられることを周知していきたいと思っています。また、永江地区の「りんRIN」や「あいRIN」も近いので連携を強化し、なんぶエリアを支える拠点にしたいと考えています。

鶴亀委員：りんRINは、自宅から近いので頻繁に利用しています。一体的な取り組みをすればさらに良い結果が生まれると思います。期待しています。

荒井監事：12月24日（水）は、なんぶ幸朋苑の餅つきが予定されています。

ふれあいの橋の会は、2026年2月26日（木）14:00～デイハウスくずもを予定しています。

